



本会創立60周年記念・第67回中小企業団体全国大会 優良組合表彰受賞の組合理事長に聞きました ～今後の抱負と今年の個人目標～

鹿角衛生協業組合(理事長 豊口 裕氏) ～中小企業庁長官表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和46年、市町村から汚物取扱業の許可を受けた清掃業者により設備の近代化や経営の合理化等を図るため組合を設立しました。平成25年には、全国環境整備事業協同組合連合会の全国大会が初めて本県で開催され、秋田県をはじめ各行政機関からもご出席頂き、当業界の活動や存在意義を認識して頂く絶好の機会となりました。その後も継続して県内事業者と行政が合同で研修会を開催するなど、行政との連携を深め、事業への理解と情報の共有を図っています。

◆組合理事長としての今後の抱負

本県では、下水道事業、一般廃棄物事業が年々縮小される傾向にあります。「秋田県生活排水処理事業連絡協議会」が発足され、新たな取り組みについて協議が進められてきました。これまで、各処理とその管理省庁が分離していましたが、し尿・浄化槽汚泥の処理、農業集落排水の処理を公共下水道・幹線へ一本化することを推進していく予定であり、県内第1号として米代川流域地域の鹿角市、大館市、能代市が同時に取り組んでいくこととしています。

◆今年の個人目標

「人生80年時代」と言われますが、20歳までの20年は親に育て守られた時期です。今ちょうど50歳で、残り60年のうち社会人として30年が経ち、折り返し地点を迎えました。これまで大病を患うことなく過ごしてきましたが、何事も体が資本のため一層健康に留意し、まずは人間ドックを受けようと思っています。そして、次の30年について備えたいです。



【豊口裕理事長】

秋田県板金工業組合(理事長 加藤 美喜夫氏) ～東北経済産業局長表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

当組合は、前身の秋田県板金工業会を継承する形で昭和44年に設立しました。昭和40年代といえば高度経済成長を遂げた時代であり、組合設立以来、一貫して板金の技能水準と技能者の社会的評価を向上させるための取り組みを行ってきました。最近では、県や市町村のリフォーム支援事業が追い風となり、リフォーム関連の受注が増加しています。

◆組合理事長としての今後の抱負

板金だけでなく、建築に関する様々な知識が必要な時代となっているため、従来の1級・2級技能士のほか、熟練した技能に加え施工管理や品質管理、原価管理、安全管理のマネジメント能力を有する技能者である「登録建築板金基幹技能者」の育成にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

◆今年の個人目標

私は、いわゆる団塊世代の人間で4代目として自社を経営していますが、今年も現場主義を貫いていくとともに、健康に留意し様々な活動に取り組みたいと考えています。また、小学校低学年から「剣道」に打ち込み(錬士6段)、淳城剣道スポーツ少年団の団長も務めてきましたが、今年度より能代山本剣道連盟の会長を拝命したこともあり、剣道の選手や若手指導者の育成にも力を入れていきます。



【加藤美喜夫理事長】

秋田県トラック運送事業協同組合(理事長 齊藤 正敏氏) ～秋田県知事表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

当組合の理事長を拝命して18年、組合員の皆様のご協力のもと、何事も「何とかかなさ!」と自分に言い聞かせ、組合運営に携わってきました。いろいろありましたが、辛かった記憶は忘れ、良い思い出ばかりが浮かんできます。一昨年は、組合創立50周年を迎え、森本元防衛大臣をお招きして約150名出席の下、記念講演会を開催するなど、私自身にとっても非常に忘れられない1日となりました。

◆組合理事長としての今後の抱負

トラック業界を取り巻く環境は決して順風満帆とは言えませんが、地域経済の発展のためにより効果的な輸送サービスを提供していくため、今後も組合員同士の「和」と対話を大切にし、組合を盛り立てていきたいと思っています。

◆今年の個人目標

毎朝、「今日一日は平穏無事に過ごそう」と自分に言い聞かせ、一日の終わりには「今日も様々なことあったが、病気もせず争うこともなく一日を過ごすことができた。」と感謝します。なかなか自分の思うようにはいきませんが、今年も「平穏無事」で過ごせる1年にしていきたいです。



【齊藤正敏理事長】



秋田電気工事協同組合(理事長 布谷 博氏) ~秋田県知事表彰~

◆これまでの組合活動を振り返って

当組合は、昭和49年に秋田県電気工事工業組合の秋田支部に加盟する電気工事業者により、資材の共同購買等を目的に設立されました。平成24年には、秋田市の公募型プロポーザル入札で「秋田市町内防犯灯LED化事業(ESCO事業)」の事業者を選定され、市内約28,500灯の交換作業を完了し、10年間の維持管理業務を行っています。これが事業協同組合による全国初のケースとなり、平成27年3月には経済産業省より「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に認定されました。

◆組合理事長としての今後の抱負

高齢化や住宅着工の低迷による受注の減少など、電気工事店を取り巻く経営環境は一層厳しくなることが予想されますが、ESCO事業による街路灯の維持管理をはじめ、当組合の信用や実績を積み重ね、官公需適格組合として共同受注事業に積極的に取り組むことで、組合員の経営基盤の強化に繋がっていきたくと考えています。

◆今年の個人目標

組合活動や自社の経営管理のほか社会的な活動も多く、多忙を極めています。健康でなければ何事も為し得ません。このため、忙しい中でも時間を作りジムに通い、ゴルフや釣りなど趣味の時間も確保しながら、精神と肉体のバランスを保つように心がけています。今年も「健康第一」を目標に、何事にも精力的に取り組んでいきます。



〔布谷博理事長〕

協同組合矢留青果(理事長 相場 金二氏) ~全国中小企業団体中央会会長表彰~

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和20年代の「朝倉市場」での相対商売をはじめ、昔は秋田駅前に市内外から行商人が集まり、お盆や年末は特に混雑し、年末の恒例行事であった家族での買出しの際は子供が迷子にならないよう手を繋ぎ買い物をしたものです。しかし、「効率・効食・利便性」を求める時代となり、当組合を取り巻く商環境は年々厳しい実状に立たされています。

◆組合理事長としての今後の抱負

組合員や当組合を利用する消費者の高齢化により、一時の賑わいを取り戻すことは容易ではありませんが、今まで以上に消費者の声に耳を傾け、今後も当組合の特色である旬の産物や消費者の関心を呼ぶ稀少な1次産品を提供していくため、理事長としての役割を果たしていきたいと考えています。

◆今年の個人目標

本業は農業ですが、稲作のほかここ数年は「日本一美味しいトマトづくり」に没頭しています。トマトのビニールハウスを歩くのが毎日の日課で、良い気分転換になっています。トマトは作り方により食味が全然違って来るため、非常に面白く、今年も試行錯誤し楽しみながらトマトづくりを追求していきたいと思えます。



〔相場金二理事長〕

秋田県自動車電装品整備商工組合(理事長 桜庭 政光氏) ~全国中小企業団体中央会会長表彰~

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和47年、モータリゼーションの急速な進展に対応し、事業の高度化や業界全体の発達を図るため、前身の「秋田電装会」を法人化しました。当時は、電装の技術があれば顧客も収益も確保できた時代でしたが、現在はディーラーの整備部門の強化や異業種の参入等で競争が激化し、ユーザーのニーズも多様化しています。また、電子化をはじめとする技術進化に伴い、メーカーとの繋がりや情報収集が必要不可欠な時代となっています。

◆組合理事長としての今後の抱負

自動車技術は日々進出し続けています。これまで主流だったガソリン車は、電装部品の点検や修理を、技術の習得を積み重ねた技術者が職人技で仕上げていました。次世代自動車であるハイブリッド車や電気自動車等は、構造の変化に伴いソフトウェアが搭載され、作業にはパソコンを使用します。今後は、さらなる技術力の向上を図り、多様な部品やIT技術への対応に柔軟に取り組んでいきます。

◆今年の個人目標

私の工場は、運輸局より電気装置整備作業を行う特殊整備工場として「優良自動車整備事業者」に認定されています。県内でも数少ない認定工場です。今後も人材育成や整備技術の向上を図り、一層のコンプライアンス強化に努めていきます。また、休日には園芸や庭木の手入れを楽しんでいきたいと思っています。



〔桜庭政光理事長〕

秋田県素材生産事業協同組合連合会(会長 兼子 富市 氏)

～全国中小企業団体中央会会長表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

当連合会は、昭和48年、県内4つの素材生産事業協同組合により設立されました。会員組合に所属する素材生産事業者に対し、林業機械の近代化支援や原木受注の斡旋を通じて経営の安定化を図るとともに、県内の合板事業者に対する原木の安定供給に努めてきました。

◆連合会会長としての今後の抱負

今後本県では、合板・製材用の原木や木質バイオマス発電用のチップ材等、木材需要の増加が見込まれることから、原木のさらなる安定供給や流通価格の安定を図るため、流通業者等と連携した新しい組織の立ち上げを目指しています。

◆今年の個人目標

素材生産事業に非常にやりがいを感じており、組合活動や自社の目標が個人目標でもあります。

今年は業界の連携を強化し、取引先工場や山林所有者とともに、素材生産事業の発展を通して本県産業の活性化を目指します。

一生懸命働き、たまには趣味のゴルフを楽しみながら、良い一年にしたいと思います。



[兼子富市会長]

秋田市中小企業従業員共同宿舍協同組合(理事長 佐野 元彦 氏)

～全国中小企業団体中央会会長表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和40年代は、高度経済成長に伴う採用難の時期であり、福利厚生面の充実が求人・採用に有利に働きました。当時は、秋田市内で働く従業員の多くが市外の出身者であったため、その方たちの生活環境の整備を目的に、昭和41年に組合を設立し、女子専用の共同宿舍を建設しました。その後、ライフスタイルの変化に対応し、ワンルームタイプや当時としては先進的な機械警備システムを導入し、最近では性別を問わず入居可能な宿舍にしました。

◆組合理事長としての今後の抱負

私の会社を含め、従業員が抱える課題として「子育てと仕事の両立」が挙げられます。民間の保育施設がフル稼働している状況において、今後は当宿舍の空き部屋を集約し、建物の1スペースに組合員企業の従業員が気兼ねなく利用できる保育園等の託児施設の運営に向け、研究していきたいと考えています。

◆今年の個人目標

還暦を迎え、これまで信頼出来る友人が沢山できました。今年は、ライフワークとして秋田を盛り立てる活動を行っている若い人を引っ張り上げていきたいと考えています。干支が一回りし、人生のラストパートに向け、新たに生まれ変わった気持ちでこの1年を過ごしていきたいと思っています。



[佐野元彦理事長]

～周年事業の開催を予定している組合の皆様へ～

今後、周年事業(〇〇周年記念式典等)を開催し、組合功労者等の表彰を予定されている組合におかれましては、組合からのご推薦(通算7年以上の役員経歴を有することが表彰基準となります。)により、本会会長表彰での対応を致します。

詳しくは、本会総務課(☎018-863-8701)までお問い合わせ下さい。

